

農作物栽培計画

平成28年 9月 17日

団体名 (代表名)	農事組合法人 ながさき南部生産組合	生産者名 及び戸数	近藤 他10名	住所	〒859-2305 長崎県南島原市北有馬町戊2465-1	TEL FAX	0957-84-3393 0957-84-3177
--------------	----------------------	--------------	------------	----	---------------------------------	------------	------------------------------

作目	トマト	品種名	瑞紅・ごほうび・結夏	出荷期間(時期)	12月下旬～6月下旬
----	-----	-----	------------	----------	------------

栽培面積	442a	生産量	前年度実績	御社向け	(前年)	出荷規格	2L～2S
反当株数	2,600株	(トン)	今年度計画	出荷量	(今年)	荷姿	4kgDB、コンテナ

年間栽培計画

月次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作業内容	ト動※ マでマ トキル ラなハ ンいナ を低バ 使温チ 用期が は活	追肥	マル ハナ バチ 利用			収 穫 終 了		播 種	元ハ 肥ウ ス・ マル チ被 覆	定支 植柱 立て	マ誘 ル引 ハナ バチ 利用	誘収 引穫 肥開 始
防除等	※病害虫防除は防虫ネットによる害虫侵入防止と循環扇でハウス内の湿度・温度のムラをなくす。 ※化学合成農薬等の使用については、「ながさき南部生産組合：トマトの防除計画」を参照して下さい。											

土作り、施肥について	栽培の特徴	商品特徴・PR
アニリッチ(6・8・3)・フィッシュパワー・カキライム・ぼかし・マイルドフミン・トンカル・ぼかし・マリングアノ・苦土石灰・多木有機液肥1号・2号・3号・有機バイオ液肥・萌え育ち液肥・グリーンコンポ・コフナ1号 6-4-2 完熟堆肥有機質肥料を主体に化成の窒素を15kg/10a以内に抑えます。 プライムミックス・アグリハーモニー2号	化学合成農薬の使用を必要最小限にとどめています。除草剤も使用せず、有機質を中心とした肥培管理を行い、よりよい土作り、作物作りに努めています。ホルモン処理のみでの着果促進を見直し、マルハナバチも可能な限り利用しています。	農薬の使用を最小限に抑え、外観よりも食味、安全性を大切にしています。瑞紅) 紅色で糖度が高く、味わい深い。りんか) しっかりとした肉質でありながら、口のなかでトロリととろけるような食感と、高精度でコクがある。

長崎県慣行基準促成栽培化成窒素33kg

ながさき南部生産組合：トマトの防除計画

改訂：平成28年9月17日

対象病害虫	特裁表示カント	登録番号	使用選択農薬	成分	毒性	魚毒性	濃度	使用限度回数	休業期間
コナジラミ類 ハモグリバエ類 アブラムシ類	1	19103	ベストガード粒剤	ニテンピラム	普通物	A	5g/培土 $\frac{1}{2}$ 1~2/株	1回	鉢上げ時
								1回	定植時
	1	20806	アルバリン粒剤	ジノテフラン	普通物	A	5g/培土 $\frac{1}{2}$ 1~2/株	1回	育苗期
								1回	定植時
	1	20812	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	A	2000~3000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	1回	前日
コナジラミ類 オオタバコガ ハスモンヨトウハモグリバエ	1	22696	アニキ乳剤	レピメクチン	普通物	A	1000~2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a) 2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日
コナジラミ類	1	22797	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	普通物	B	4000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日
	1	22093	クリアザールフロアブル	スピロメシフェン	普通物	B	4000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	2回	前日
オオタバコガ、コカ、ハモグリバエ類	0	20178	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド	普通物	B	5000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	2回以内	前日
コナジラミ類 アブラムシ類	1	23556	ベリマークSC	シアントラニリプロール	普通物	-	400倍 25ml/1株	灌注のみ1回	鉢上げ後
	1	19102	ベストガード水溶剤	ニテンピラム	普通物	A	1000~2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日
	1	19113	モスピラン水溶剤	アセタミプリド	劇物	A	2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日
	1	23187	モベントフロアブル	スピロテトラマト	普通物	-	1000倍 1株 25~50ml 2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	1回	育苗期後半・灌注
							3回	前日	
コナジラミ類・ダニ ハモグリバエ類 オオタバコガ	1	20016	マッチ乳剤	ルフェヌロン	普通物	B	2000~3000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	4回	前日
ダニ・タバコガ	1	19184	コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	C	2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日
ハモグリバエ類 オオタバコガ・ダニ	1	19842	アフアーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩	普通物	C	2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	5回	前日
葉かび病・灰色かび病	1	20574	アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン	普通物	B	2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	4回	前日
葉かび病	1	17687	ラリー乳剤	マイクロブタニル	普通物	B	2500~5000倍 (150~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日

ながさき南部生産組合：トマトの防除計画

改訂：平成28年9月17日

うどんこ病・すすかび病・灰色かび病・葉かび病	2	22290	シグナムWDG	ピラクロストロピン ボスカリド	普通物	C	2000倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	2回	前日
すすかび病・灰色かび病・葉かび病・菌核病・斑点病	1	23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ	普通物	—	2000~3000倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	3回	前日
疫病・葉かび病	2	20354	ホライズントライフフロアブル	シモキサニル ファモキサドン	普通物	C	1500~2500倍 (150~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	3回	前日
疫病	1	23436	エトフィンフロアブル	エタボキサム	普通物	-	1000倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	4回	前日
	2	23455	ザンプロDMフロアブル	アメトクトラジン・ジメトモルフ	普通物	-	1500倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	3回	前日
	1	20624	ランマンフロアブル	シアゾファミド	普通物	A	1000~2000倍 (150~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	4回	前日
	1	22379	レーバスフロアブル	マンジプロパミド	普通物	—	1500~2000倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	3回	前日
	1	23789	ゾーベックエニケード	オキサチアピプロリン	普通物	—	5000倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	2回	前日
灰色かび病	1	19426	セ化 ^ア フア ^ア ブル20	フルジオキサニル	普通物	A	1000~1500倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	3回	前日
葉かび病	1	21469	カンタスドライフロアブル	ボスカリド水和剤	普通物	A	1000~1500倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	3回	前日
灰色かび病	2	20449	ジャストミート顆粒水和剤	フェンヘキサミド フルジオキサニル	普通物	B	2000~3000倍 (150~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	3回	前日
うどんこ病・さび病 灰色かび病・葉かび病	0	18358	カリグリーン	炭酸水素カリウム	普通物	A	800~1000倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	—	前日
うどんこ病・ハダニ類・アブラムシ類	0(有)	20316	サンクリスタル乳剤	脂肪酸グリセリド	普通物	A	300~600倍 (150~500 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	—	前日
コナジラミ類・ダニ ハモグリバエ類 オオタバコガ	1	22464	プレバソンフロアブル5	クロラントラニプロール水和剤	普通物	B	1000倍 1株当たり2 5ml	1回	育苗期~定 植前日
							2000倍 100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a	3回	前日
コナジラミ類・ハモグリバエ類・オオタバコガ・アブラムシ	1	23553	ベネビアOD	シアントラニプロール	普通物	—	2000倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	3回	前日
うどんこ病	2	21117	パンチョTF顆粒水和剤	シフルフェナミド・トリフルミゾール	普通物	B	2000倍 (100~300 $\frac{\mu\text{g}}$ /10a)	2回	前日
	0	17827	イオウフロアブル	硫黄	普通物	A	500~1000倍	—	—

着果促進・果実の肥大促進	1	6072	トマトトーン	4-CPA	普通物	C	低温時50倍 高温時100倍	1花房につき1回	—
灰色かび病・葉かび病・菌核	1	22209	アフェットフロアブル	ペンチオピラド	普通物	B	2000倍 (100~300 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a)	3回	前日
うどんこ病	1	22209	アフェットフロアブル	ペンチオピラド	普通物	B	4000倍 (100~300 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a)	3回	前日

【生物農薬】

対象病害虫	特裁表示カウ ント	登録番号	使用選択農薬	成分	毒性	魚毒性	濃度	使用限度回数	休業期間
トマトサビダニ	0	18406	コロマイト乳剤	ミルベメクチン	普通物	C	1500倍 (100~300 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a)	2回	前日
灰色かび病・うどんこ病	0	20080	ボトキラー水和剤	バチルス・ズブチリス	—	—	1000倍 (150~300 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a)	—	発病前
うどんこ病	0	20080	ボトキラー水和剤	バチルス・ズブチリス	—	—	使用量：300g/10a 使用液量：6~10 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a	—	発病前～ 発病初期
葉かび病	0	21071	インプレッション水和剤	バチルス・ズブチリス	—	—	500倍	—	発病前～ 発病初期
コナジラミ類	0	20956	ボタニガードES	ボーベリア バシアーナ	—	—	500~2000倍 (100~300 $\frac{\text{g}}{\text{L}}$ /10a)	—	発病前～ 発病初期

※ 圃場で使用する農薬に多少違いは生じると思いますが、化学合成農薬の殺菌剤・殺虫剤の農薬総使用回数(成分カウント)を20回以内に抑
1回でも使用回数を減らすよう努力致します。(長崎県慣行促成栽培64回) ※ 化学合成農薬以外にも生物農薬を使用します。

※ 慣行栽培における農薬の使用状況例と比較して頂き、減農薬栽培としての努力を御理解ください。

※ 通常マルハナバチによる着果促進を行い、補完的に植物調整剤を使用します。

※ 農薬の使用回数にあたっては、育苗時(購入前も含む)の防除も含めて個々の農薬の使用限度回数を守ってください。

※ (有)は有機で使用可能。

※平成28年9月17日 トリフミン水和剤・ディアナSC・ベルコートフロアブル・ラノーテープ・サンマイトフロアブルを削除する。

※平成28年9月17日 ラリー乳剤・シグナムWDG・ゾーベックエニケード・ファンタジスタ顆粒水和剤を追加する。